

第24回 The 24th Chugoku Regional Meeting of Japan Endocrine Society



日本内分泌学会 中国支部学術集会

プログラム・抄録集

会期 2023年 9月2日(土)

会場 松江テルサ 〒690-0003
島根県松江市朝日町478-18

会長 垣羽 寿昭 松江赤十字病院
糖尿病・内分泌内科 部長

ご 挨拶

日本内分泌学会中国支部学術集会の 開催にあたって ～ご縁の国で繋がりを想ふ～

第24回日本内分泌学会中国支部学術集会

会 長 垣羽 寿昭 松江赤十字病院
糖尿病・内分泌内科 部長



このたび、第24回日本内分泌学会中国支部学術集会を担当することになりました松江赤十字病院の垣羽でございます。このような貴重な機会を与えていただき、支部長の谷澤幸生先生、副支部長の大塚文男先生をはじめ、幹事の先生方に心より感謝申し上げます。また、準備段階におきまして、広島赤十字・原爆病院の亀井望先生にはお忙しい中、多くのご助言を賜り、誠に有難うございました。

新型コロナウイルス感染症の拡大・長期化により、第21回・22回・23回の学術集会は残念ながらWEBでの開催となりました。会長を担当され現地開催の方向で模索されていた先生方は、さぞかしご苦労されたのではないのでしょうか。感染症の動向は未だに予断を許しませんが、対面でのディスカッションを重視し、第24回学術集会は現地開催で行うことといたしました。第9波とも言える状況の中、はたして演題が集まるのだろうかと心配しましたが、YIA6演題を含め、30演題のご応募をいただきました。いずれも興味深い内容となっております。応募いただいた先生方に心より感謝申し上げます。日常の喧噪を離れ、(しばしの観光なども楽しみつつ)他の医療機関の先生方とFace to Faceでディスカッションをしたり、交流を深めたりできる、というのが学会の醍醐味ではないかと思う今日この頃、是非とも皆様には活発なご討議をお願いできますと幸いです。

さて、今回の学術集会では上記のような副題を提示させていただきました。特別講演には、東北大学大学院糖尿病代謝内科学分野教授の片桐秀樹先生をお招きし、「代謝恒常性に向けた臓器間ネットワークとその活用」と題してご講演頂く予定です。人間を含め生物には、移り変わる環境変化に対して、内部環境を生存に適した一定範囲内に保持しようとする「ホメオスタシス」の機構が働いており、それを支える情報と制御のシステムとして神経系と内分泌系が重要で、我々はこうした巧妙な仕組みによって生かされていることに気づかされます。

JES We Canは、担当の折出亜希先生に企画頂き、「性分化疾患」をテーマとしたシンポジウムで、広島大学の宇都宮朱里先生、鳥根大学の久守孝司先生、岡山大学の片岡文男先生、岡山大学の鎌田泰彦先生にご登壇頂く予定となっております。

私も医師となって三十年近くになりますが、患者さんとのご縁、先生方とのご縁、医療スタッフとのご縁・・・、様々な縁によってもたらされた繋がりによって生かされているのだということを改めて感じざるを得ません。さらに、“ご縁の国”鳥根で学術集会を開催する機会を与えられたことへの感謝も込め、このような副題とさせていただきます。

皆様と松江の地でお会いできますこと心より楽しみにしております。

第24回日本内分泌学会中国支部学術集会

開催概要

会 長

垣羽 寿昭(松江赤十字病院 糖尿病・内分泌内科)

会 期

令和5年9月2日(土) 12:00～18:40

会 場

松江テルサ

〒690-0003 松江市朝日町478-18(JR 松江駅前)

TEL:0852-31-5550 FAX:0852-31-5540

学術集会

12:00～17:30 第1会場「大会議室」、第2会場「中会議室」

特別講演

12:40～13:40 第1会場「大会議室」

支部総会

13:50～14:00 第1会場「大会議室」

JES We Can・第24回中国支部学術集会共同企画

14:00～16:00 第2会場「中会議室」

YIA 候補演題口演

16:00～17:10 第1会場「大会議室」

YIA 表彰

17:20～17:25 第1会場「大会議室」

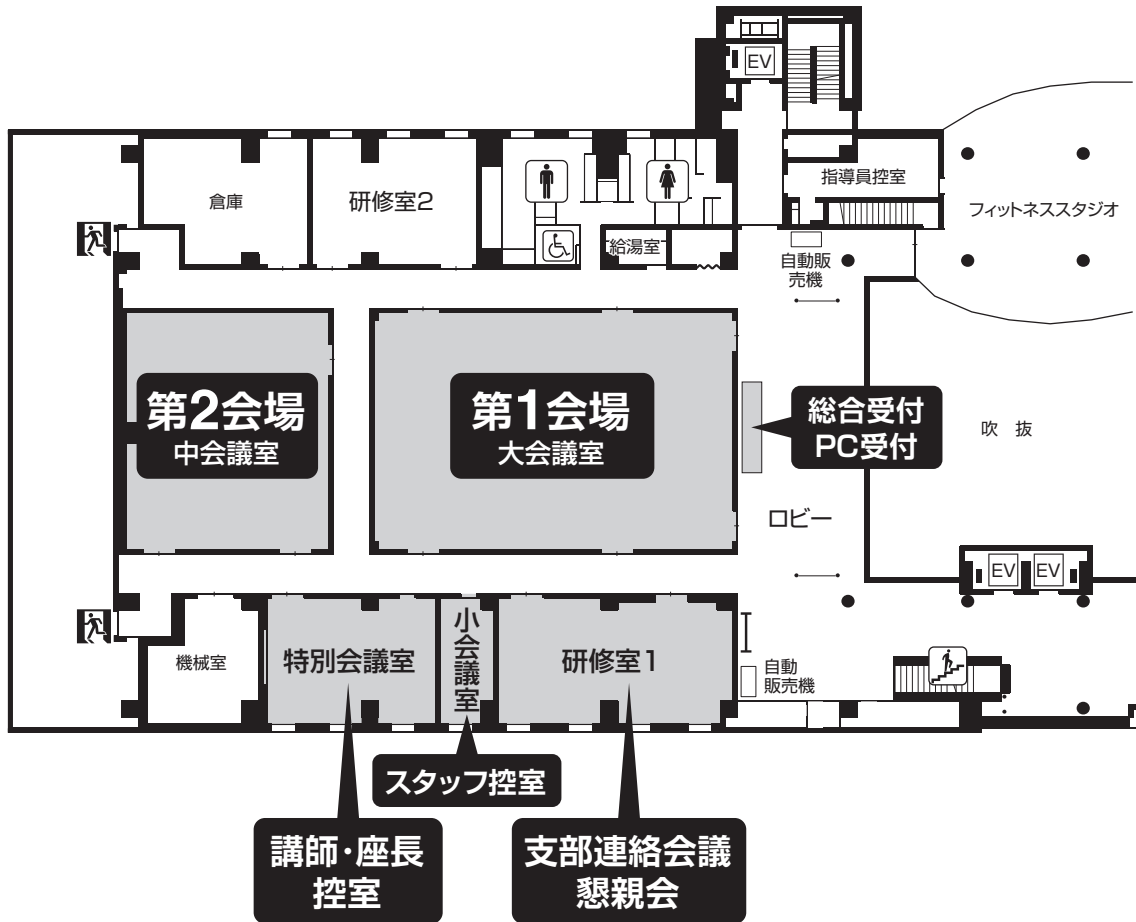
懇親会

17:40～18:40 「研修室1」

会場図

松江テルサ

4F



※会場にクロークは設置してありません。

テルサ内もしくは JR 松江駅構内のコインロッカーをご利用ください。

参加者へのご案内

1. 参加受付

日 時：9月2日(土) 11:00～16:00

場 所：総合受付(4F ロビー)

2. 参加費、抄録集販売など(現金受付のみ)

医師・一般(会員) : 5,500円

医師・一般(非会員) : 6,000円

メディカルスタッフ(会員) : 2,500円

メディカルスタッフ(非会員) : 3,000円

学部学生・初期臨床研修医 : 無 料 ※学生証または研修証明書を呈示してください

プログラム・抄録集 : 1,000円

- ・会場内では必ず参加証(兼領収書)に所属・氏名を記入のうえ、携帯してください。
- ・参加証(兼領収書)の再発行はできませんので、大切に保管してください。

3. 単位登録

受付時間：12:00～17:30

場 所：単位受付(4F ロビー)

日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医更新単位

対象者：内分泌代謝科専門医

内分泌代謝科専門医資格を取得されている方へは、ご出席により更新研修単位として5単位が付与されます。専門医カードによる受付は行いませんので、参加受付時にお渡しする単位登録票(2枚複写用紙)をご記入のうえ、受付時間内に単位受付へご提出ください。控えは大切に保管してください。受付時間外、代理の方のご登録はお受けできませんので、ご注意ください。演者加算、日本糖尿病学会等関連学会への単位加算には自己申告が必要となりますので、参加証を大切に保管してください。

日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医更新 指定講演聴講単位

対象者：内分泌代謝科専門医および内分泌代謝・糖尿病内科領域暫定指導医

本会の「特別講演」への出席により、指定講演聴講単位が取得可能です。

特別講演 12:40～13:40 領域：内科 1単位

4. クローク

会場にクロークは設置していません。

松江テルサ内もしくはJR松江駅構内のコインロッカーをご利用ください。

5. 懇親会

時 間：17:40～18:40

会 場：4F 研修室1

参加費：2,000円

参加ご希望の方は学会参加受付時に参加費をお支払いください。

定員になり次第、受付を終了させていただきます。ご了承ください。

6. 関連会議のご案内

中国支部連絡会議：11:00～11:50 4F 研修室1

中国支部総会：13:50～14:00 4F 大会議室(第1会場)

7. 休憩場所

4F ロビーや1F の休憩スペース(アトリウムチャラ)をご利用ください。

8. その他

会場内では、携帯電話をマナーモードに設定してください。

会場内は全面禁煙です。

許可のない掲示・展示・印刷物の配布・録音・写真撮影・ビデオ撮影は固くお断りいたします。

座長・発表者へのご案内

1. 発表時間

一般演題 発表5分、質疑2分

YIA 候補演題 発表7分、質疑3分

2. 座長の先生方へ

担当セッション開始予定時刻の30分前までに総合受付(4F ロビー)で受付を済ませ、15分前には会場右前方の「次座長席」にご着席ください。限られた時間内にて発表が円滑に進行するようにご配慮ください。

3. YIA 審査員の先生方へ

YIA 開始予定時刻の15分前までに総合受付(4F ロビー)にて受付をお願いいたします。セッション開始前に第1会場前方の審査員席にご着席ください。

4. 発表者の先生方へ

発表開始30分前までにPC受付へお越しいただき、データの試写をお願いいたします。

ご自身が発表される前の演者が発表開始後、会場左前方の「次演者席」にご着席ください。

当日は舞台上にモニターとキーボード・マウスをご用意しておりますので、発表時の操作はご自身でお願いいたします。

【利益相反の開示】

会員、非会員の別を問わず、筆頭発表者は該当するCOI状態について、発表スライドの最初(または演題・発表者などを紹介するスライドの次)に情報開示をお願いします。

所定の様式は日本内分泌学会ホームページ(<https://square.umin.ac.jp/endocrine/hottopics/coi-index.html>)よりダウンロードできます。

【持込みデータのご案内】

- 1) 本学術集会の発表は、PCプレゼンテーションに限らせて頂きます。学会でご用意するPCは、Windows 10 Microsoft Power Point 2013、2019が動作します。
- 2) 発表データに使用するフォントはOSに標準搭載されているフォントを推奨いたします。
一例：MSゴシック、MSPゴシック、MS明朝、MSP明朝 英語：Times New Roman、Arial、Arial Black、Arial Narrow、Century、Century Gothic
- 3) プレゼンテーションデータに静止画・グラフ等のデータをリンクさせている場合は、データも必ず保存していただき、作成された別のPCで事前に動作確認を行ってください。
- 4) Power Pointの「発表者ツール」は使用できません。
音声出力はできません。
- 5) コピーした発表データは、発表後に事務局が責任を持って消去いたします。
- 6) 上記以外のソフトや動画を使用する場合、およびMacでの発表者は、各自下記をご覧いただき、PCをご用意ください。発表後、持込PCは会場内のPCデスクでお返しいたします。

【持込み PC のご案内】

- 1) 会場で用意する PC ケーブルコネクタの形状は、HDMI です。この出力端子を持つ PC をご用意いただくか、この形状に変換するコネクタを必ずご準備ください
- 2) 電源ケーブルもお忘れなくお持ちください。
- 3) 再起動をすることがありますので、パスワード入力は“不要”に設定してください。
- 4) スクリーンセーバーならびに省電力設定は事前に解除しておいてください。

主 催：日本内分泌学会中国支部

支 部 長：山口大学 谷澤 幸生

副支部長：岡山大学学術研究院 医歯薬学域・総合内科学 大塚 文男

事 務 局：山口大学大学院 医学系研究科 病態制御内科学 谷澤 幸生

〒755-8505 山口県宇部市南小串1-1-1

第24回日本内分泌学会中国支部学術集会事務局

松江赤十字病院 糖尿病・内分泌内科

〒690-8506 島根県松江市母衣町200

TEL：0852-24-2111 FAX：0852-31-9783

E-mail：jesc2023@matsue.jrc.or.jp

2023年9月2日(土) 松江テルサ

	第1会場 大会議室	第2会場 中会議室	研修室1
			11:00～11:50 支部連絡会議
12:00	12:00～12:05 開会の辞 12:05～12:35 一般演題1 [下垂体1] 座長：亀井 望 (広島赤十字・原爆病院)	会長：垣羽 寿昭 (松江赤十字病院) 12:10～12:40 一般演題5 [副腎] 座長：宗 友厚 (川崎医科大学)	
	～12:40 会場準備		
13:00	12:40～13:40 特別講演 座長：垣羽 寿昭 (松江赤十字病院) 代謝恒常性に向けた 臓器間ネットワークとその活用 片桐 秀樹 (東北大学)		
	～13:50 休憩		
14:00	13:50～ 中国支部総会		
	14:00～14:35 一般演題2 [下垂体2] 座長：永澤 篤司 (島根県立中央病院)	14:00～16:00 JES We Can 企画 シンポジウム 性分化疾患 座長：鞍嶋 有紀 (島根大学)	
	14:35～15:10 一般演題3 [甲状腺1] 座長：伊澤 正一郎 (鳥取大学)	シンポジスト： 宇都宮 朱里 (広島大学大学院) 久守 孝司 (島根大学医学部附属病院) 大塚 文男 (岡山大学学術研究院) 鎌田 泰彦 (岡山大学病院)	
15:00	15:10～15:45 一般演題4 [甲状腺2・副甲状腺] 座長：多田 裕子 (松江市立病院)		
	～16:00 休憩		
16:00	16:00～17:10 YIA 候補演題口演 座長：秋山 優 (山口大学医学部附属病院) 難波 範行 (鳥取大学)	～16:10 休憩 16:10～16:45 一般演題6 [性腺・その他] 座長：金崎 春彦 (島根大学)	
17:00	～17:20 休憩		
	17:20～17:25 若手研究奨励賞発表・表彰 17:25～17:30 閉会の辞	会長：垣羽 寿昭 (松江赤十字病院)	
			17:40～18:40 懇親会

第24回日本内分泌学会中国支部学術集会

若手研究奨励賞

(Young Investigator Award : YIA)

座 長

秋山 優 山口大学医学部附属病院 第三内科

難波 範行 鳥取大学 医学部 周産期・小児医学部分野

審 査 員

支部長 谷澤 幸生 山口大学

島 根 金崎 啓造 島根大学 医学部 内科学講座 内科学第一

鳥 取 谷口 晋一 鳥取大学 医学部 地域医療学講座

岡 山 中西 修平 川崎医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科

広 島 富永 篤 県立広島病院 脳神経外科・脳血管内治療科

山 口 中村 康彦 山口県立総合医療センター 産婦人科

第24回日本内分泌学会中国支部学術集会

プログラム

2023年9月2日(土) 松江テルサ

第1会場(大会議室)

12:00～12:05 **開会の辞**

会長：垣羽 寿昭(松江赤十字病院)

12:05～12:35 **一般演題1**

[下垂体1]

座長：亀井 望(広島赤十字・原爆病院)

01 当院におけるプロラクチノーマの男性例の特徴

○井上 幹造、浜松 圭太、石黒 太郎、稲垣 雄一郎、澤井 瑠一、岡崎 恭子、西澤 衡、横田 敏彦、村部 浩之

倉敷中央病院 内分泌代謝・リウマチ内科、糖尿病・内分泌代謝センター

02 視野障害と汎下垂体機能低下症を呈したトルコ鞍内髄膜腫の1例

○小椋 貴文¹⁾²⁾、福原 紀彰²⁾、岡田 満夫²⁾、西岡 宏²⁾、黒崎 雅道¹⁾

1)鳥取大学 医学部 脳神経外科、2)虎の門病院 間脳下垂体外科

03 ソマトスタチンアナログを術前投与した TSH 産生 Pituitary neuroendocrine tumor の2例

○富永 篤¹⁾、迫口 哲彦²⁾、岐浦 禎展¹⁾、籬 拓郎¹⁾、下永 皓司¹⁾、露口 牙¹⁾、井上 祐輔¹⁾、川本 雄一郎¹⁾

1)県立広島病院 脳神経外科・脳血管内治療科、2)市立三次中央病院

04 インスリン低血糖負荷試験における低血糖負荷不十分の予測因子

○田口 慧、木下 康之、大西 俊平、米澤 潮、山崎 文之、堀江 信貴

広島大学病院 脳神経外科

12:40～13:40 **特別講演**

座長：垣羽 寿昭(松江赤十字病院)

「代謝恒常性に向けた臓器間ネットワークとその活用」

片桐 秀樹 先生 東北大学大学院 医学系研究科 糖尿病代謝内科学分野 教授

13:50～ **中国支部総会**

[下垂体2]

座長：永澤 篤司(島根県立中央病院)

05 特発性 ACTH 単独欠損症による下垂体性副腎皮質機能低下症により
低血糖昏睡に陥った1例

○春山 悠太

広島市民病院

06 転移との鑑別を要した免疫チェックポイント阻害薬関連下垂体炎の1例○伊藤 慶彦、稲垣 兼一、山岡 主知、石井 貴大、佐々木 恵里佳、藤澤 諭、寺坂 友博、
森本 栄作、原 孝行、和田 淳

岡山大学病院 腎臓・糖尿病・内分泌内科/内分泌センター

07 多職種に対する成人成長ホルモン分泌不全症に関する教育効果の検討○中野 靖浩¹⁾、越智 可奈子²⁾、徳増 一樹¹⁾、大塚 勇輝¹⁾、小比賀 美香子¹⁾、大塚 文男¹⁾

1)岡山大学学術研究院 医歯薬学域 総合内科学、2)岡山大学学術研究院 医歯薬学域 医療教育センター

08 デスモプレシン内服開始後、多飲により低 Na 血症が遷延した中枢性尿崩症の1例

○稲見 光浩、児玉 堯也、石原 文江、江草 玄太郎、馬場 隆太、長野 学、大野 晴也

広島大学病院 内分泌・糖尿病内科

09 88歳まで未治療で経過し、尿閉を契機に家族性中枢性尿崩症と診断された1例○多田 裕子¹⁾、林 真理恵¹⁾、佐々木 基史¹⁾、瀬島 健裕²⁾

1)松江市立病院 糖尿病・内分泌内科、2)松江市立病院 泌尿器科

[甲状腺1]

座長：伊澤 正一郎(鳥根大学)

10 COVID-19急性期に甲状腺クリーゼを発症した基礎疾患のない1症例

○小澤 千尋

地域医療振興協会 東京北医療センター

11 Basedow 病に胸腺過形成を合併した1例○四方田 美和子、小川 典子、野津 雅和、川北 恵美、石原 慎一郎、守田 美和、山本 昌弘、
金崎 啓造

鳥根大学医学部 内科学講座 内科学第一

12 食道癌に対する放射線療法から6年後に発症した粘液水腫性昏睡の1例○朝山 伊津子¹⁾、多田 裕子²⁾、佐々木 基史²⁾

1)鳥根大学 医学部 内科学講座内科学第一、2)松江市立病院

13 甲状腺全摘術を選択した再発性無痛性甲状腺炎の1例

○野津 雅和¹⁾、小林 茉莉子¹⁾、川北 恵美¹⁾、石原 慎一郎¹⁾、守田 美和¹⁾、山本 昌弘¹⁾、清原 信昭²⁾、青井 典明³⁾、坂本 達則³⁾、金崎 啓造¹⁾

1) 島根大学 医学部 内科学講座内科学第一、2) 大田市立病院 内科、
3) 島根大学 医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座

15:10～15:45

一般演題4

[甲状腺2・副甲状腺]

座長：多田 裕子(松江市立病院)

14 甲状腺原発B細胞性リンパ腫に伴う甲状腺機能低下症に対して、レボチロキシンナトリウム静注剤の間欠的投与が有用であった一例

○淀川 拓馬、中林 容子、秋山 優、太田 康晴

山口大学医学部附属病院 第三内科

15 総胆管結石性胆管炎、胆嚢炎をともない、肝機能・甲状腺機能の管理に難渋した未治療バセドウ病の1例

○野津 和巳¹⁾、仲田 典子¹⁾、戎谷 悠里²⁾、河田 麻里衣²⁾、内田 靖²⁾、杉本 真一³⁾、垣羽 寿昭⁴⁾、山尾 有加⁵⁾、野津 雅和⁵⁾、金崎 啓造⁵⁾

1) 医療法人 大学前のつ内科クリニック、2) 松江赤十字病院 消化器内科、3) 松江赤十字病院 消化器外科、
4) 松江赤十字病院 糖尿病内分泌内科、5) 島根大学医学部附属病院 内分泌代謝内科

16 原発性副甲状腺機能亢進症に対するデノスマブ投与での血清Ca値の変動

○岡田 晃、馬場 隆太、石橋 百合亜、大田垣 裕、児玉 堯也、江草 玄太郎、長野 学、松田 亜華、大野 晴也

広島大学病院 内分泌・糖尿病内科

17 エボカルセトとデノスマブの併用で良好な血清カルシウムのコントロールを得た手術不能原発性副甲状腺機能亢進症の一例

○松尾 祐佳¹⁾、武田 昌也²⁾、青江 一真²⁾、長谷川 百花²⁾、須江 美裕²⁾、渡邊 真由²⁾、片山 晶博²⁾、松下 裕一²⁾、伊勢田 泉²⁾、肥田 和之²⁾

1) 国立病院機構 岡山医療センター 教育研修部、2) 国立病院機構 岡山医療センター 糖尿病・代謝内科

16:00～17:10

YIA 候補演題口演

座長：秋山 優(山口大学医学部附属病院)
難波 範行(鳥取大学)

YIA-1 ACTH値が正常範囲であった免疫チェックポイント阻害剤関連ACTH単独欠損症の一症例

○石橋 百合亜、馬場 隆太、岡田 晃、太田垣 裕、児玉 堯也、江草 玄太郎、長野 学、松田 亜華、大野 晴也

広島大学病院 内分泌・糖尿病内科

YIA-2 成長ホルモン産生 PitNET の治療による甲状腺超音波所見変化の解析

○門脇 佳名子¹⁾、伊澤 正一郎¹⁾、深谷 健二¹⁾、松本 和久¹⁾、松澤 和彦¹⁾²⁾、大倉 毅¹⁾、黒崎 雅道³⁾、山本 一博¹⁾

1) 鳥取大学 医学部 循環器・内分泌代謝内科学分野、2) 鳥取大学 医学部 薬理学・薬物療法学分野、
3) 鳥取大学 医学部 脳神経外科学分野

YIA-3 当院における免疫チェックポイント阻害薬投与例の 甲状腺機能障害の発生状況と治療予後の検討

○段 和徳、岩本 侑一郎、木村 友彦、片倉 幸乃、下田 将司、中西 修平、宗 友厚、
加来 浩平、金藤 秀明

川崎医科大学

YIA-4 エストロゲン製剤の種類および投与経路の違いにより コルチコイド結合性グロブリンを介した

コルチゾールの上昇の程度に差があることが臨床的に確認できた1例

○納谷 幸佑¹⁾、新丸 研登²⁾、沖本 ゆき乃¹⁾、稲見 光浩³⁾、濱岡 彩¹⁾、藤原 典子¹⁾、
亀井 望¹⁾

1) 広島赤十字・原爆病院 内分泌・代謝内科、2) 大阪公立大学大学院 医学研究科 代謝内分泌病態内科学、
3) 広島大学病院 内分泌・糖尿病内科

YIA-5 オクトレオチド持続皮下注射で血糖コントロールをえた 先天性高インスリン血症の巨大児の一例

○黒澤 健悟¹⁾、熊崎 健介¹⁾、宇山 祥¹⁾、萩元 慎二¹⁾、倉信 裕樹¹⁾、堂本 友恒¹⁾、
戸川 雅美¹⁾、田村 明子¹⁾、宇都宮 靖¹⁾、樋口 真司²⁾

1) 鳥取県立中央病院、2) 大阪市立総合医療センター

YIA-6 本邦の小児肥満有病率の10年間の推移

～ Jointpoint regression を用いた小児肥満トレンド解析～

○藤原 進太郎¹⁾²⁾、原田 洸³⁾、萩谷 英大²⁾、小山 敏広⁶⁾、長谷川 高誠⁵⁾、塚原 宏一⁴⁾、
大塚 文男²⁾

1) 岡山医療センター 小児科、2) 岡山大学大学院 医歯薬総合研究科 総合内科学、

3) Department of Medicine, Icahn School of Medicine at Mount Sinai, Mount Sinai Beth Israel、

4) 岡山大学大学院 医歯薬総合研究科 小児医科学、5) 岡山大学病院 小児科、

6) 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 医歯薬学専攻 薬学系講座 健康情報科学分野

17:20～17:25

若手研究奨励賞発表・表彰

17:25～17:30

閉会の辞

会長：垣羽 寿昭(松江赤十字病院)

12:10～12:40

一般演題5

[副腎]

座長：宗 友厚(川崎医科大学)

18 サブクリニカルクッシング症候群における FCR の日内変動

○岩本 侑一郎、木村 友彦、真田 淳平、伏見 佳朗、片倉 幸乃、下田 将司、中西 修平、
加来 浩平、宗 友厚、金藤 秀明

川崎医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科学

19 臨床診断で特発性アルドステロン症を呈し、左副腎腫瘍による
サブクリニカルクッシング症候群と右副腎皮質癌を合併した両側副腎腫瘍の1例

○沖本 ゆき乃¹⁾、濱岡 彩¹⁾、納谷 幸佑¹⁾、藤原 典子¹⁾、沖 健司²⁾、笹野 公伸³⁾

1) 広島赤十字・原爆病院 内分泌・代謝内科、2) 広島大学病院 内分泌・糖尿病内科、

3) 東北大学大学院 医学系研究科 病理診断学分野

20 難治性の便秘を契機に診断した褐色細胞腫の1例

○山本 奈歩

山口県立総合医療センター

14:00～16:00

JES We Can 企画

座長：鞆嶋 有紀(島根大学)

シンポジウム

「性分化疾患」

シンポジスト：

「小児科で対応する性分化疾患の診療と課題」

宇都宮 朱里(広島大学大学院 医系科学研究科 遺伝医学 客員教授)

「性分化異常 外性器異常の見方」

久守 孝司(島根大学医学部附属病院 小児外科診療科長)

「内科臨床でも出会うかもしれない性分化疾患」

大塚 文男(岡山大学学術研究院 医歯薬学域・総合内科学 教授)

「思春期女性の性分化疾患について」

鎌田 泰彦(岡山大学病院 周産母子センター 准教授)

[性腺・その他]

座長：金崎 春彦(島根大学)

21 不妊症患者における子宮内膜脱落膜化不全について

○田中 結美子、田村 功、城下 亜文、高崎 ひとみ、藤村 大志、白蓋 雄一郎、
三原 由実子、杉野 法広

山口大学大学院 医学系研究科 産科婦人科学

22 発症様式の異なる低ゴナドトロピン性男子性腺機能低下症の2例

○床並 亜有子¹⁾、野津 和巳²⁾、仲田 典子²⁾、山本 和彦²⁾、足立 奈緒子¹⁾、永澤 篤司¹⁾、
並河 哲志¹⁾

1) 島根県立中央病院 内分泌代謝科、2) 医療法人大学前のつ内科クリニック

23 線維性骨異形成症の治療に難渋している結節性硬化症に合併した McCune-Albright 症候群の一例

○山口 由起子

鳥取大学附属病院 小児科

24 COVID-19 後遺症に見られる低亜鉛血症とその臨床的意義

○松田 祐依、徳増 一樹、大塚 勇輝、砂田 匠彦、本多 寛之、櫻田 泰江、中野 靖浩、
長谷川 徹、植田 圭吾、大塚 文男

岡山大学病院

研修室1

11:00～11:50 支部連絡会議

17:40～18:40 懇親会

抄 録

特別講演

JES We Can・第24回中国支部学術集会共同企画

一般演題



代謝恒常性に向けた臓器間ネットワークとその活用

片桐 秀樹

東北大学大学院 医学系研究科 糖尿病代謝内科学分野 教授

略 歴

1987年3月	東京大学 医学部 医学科 卒業
1987年6月～1988年5月	東京大学医学部附属病院 内科 研修医
1988年6月～1989年6月	東芝中央病院 内科 研修医
1989年6月～1990年6月	朝日生命成人病研究所附属丸の内病院
1990年7月～2001年8月	東京大学医学部附属病院 第三内科
2001年9月～2002年12月	東北大学医学部附属病院 糖尿病代謝科
2003年1月～2015年10月	東北大学大学院 医学系研究科 創生応用医学研究センター 教授
2010年4月～2020年3月	東北大学大学院 医学系研究科 代謝疾患医学コアセンター長
2013年4月～2023年3月	東北大学病院 糖尿病代謝科 科長
2023年4月～現在	東北大学病院 糖尿病代謝・内分泌内科 科長 他、東北大学大学院 医学系研究科 糖尿病代謝内科学分野 教授、同 副研究科長、同 創生応用医学研究センターセンター長を兼任
2020年12月～現在	内閣府「ムーンショット型研究開発事業」ムーンショット目標2「恒常性の理解と制御による糖尿病および併発疾患の克服」プロジェクトマネージャー

資 格

医学博士(東京大学)
 日本内科学会総合内科認定医、専門医
 日本糖尿病学会 専門医、研修指導医
 日本内分泌学会 専門医、指導医
 日本肥満学会 専門医、指導医

受 賞

平成6年度	日本内科学会研究奨励賞
平成18年度	日本学術振興会賞
平成19年度	日本糖尿病学会賞(リリー賞)
	日本内分泌学会研究奨励賞
	日本医師会医学研究奨励賞
平成26年度	文部科学大臣表彰 科学技術賞(研究部門)
令和2年度	日本糖尿病学会賞(ハーゲドーン賞)

ヒトを初めとする多臓器生物においては、全身の各臓器・組織の代謝は、それぞれ個別・無関係に行われているのではなく、個体として効率よく一方向に導くべく、臓器間で密接に関連し協調して動的恒常性を保っている。このような個体レベルでの代謝調節には臓器間での情報のやり取りが必須である。

この臓器間の連携機構として、ホルモンなどの液性因子を介するものに加え、神経系の解明が進み、2型糖尿病は肥満関連疾患などの発症機序としても注目を集めている。特に肝臓は、門脈からの血流を直接受けるとともに、グリコーゲンや脂質を蓄積することができる臓器であり、短期的及び長期的な栄養状態を把握しその情報を発信する臓器として重要な位置にある。実際、肝臓からの神経シグナルにより、エネルギー消費や熱代謝、脂質代謝、膵β細胞量が調節されている。さらに、飢餓時の代謝対応に関わる新たなメカニズムも見いだされた。このような仕組みを用いて、中枢神経系は、末梢臓器からの代謝情報を逐一把握し、個体としての恒常性を維持するために各臓器の代謝を制御している。しかし、環境の変化に応じて恒常性を守るはずのこのシステムは、往々にして飽食の現代では、血圧上昇・高中性脂肪血症・高インスリン血症といったメタボリックシンドロームの諸病態の発症・進展にも関わる。臓器連関システムの機能不全のみならず、その慢性的な過活動が肥満関連の病態につながる事が想定されている。

さらに、膵β細胞増殖につながる迷走神経-膵β細胞間の詳細な組織学的分子生物学的メカニズムが解明され、迷走神経の活性化により、膵β細胞が増殖することも確認された。これらの仕組みを人為的に制御することで、糖尿病を根治する新たな治療法の開発につながることも期待される。本講演では、これまでの臓器間ネットワーク発見の概略を示すと同時に、最新の研究成果をもとに治療法開発に向けた発展の可能性について議論したい。

01 当院における プロラクチノーマの男性例の特徴

○井上 幹造、浜松 圭太、石黒 太郎、稲垣 雄一郎、
澤井 瑠一、岡崎 恭子、西澤 衡、横田 敏彦、
村部 浩之

倉敷中央病院 内分泌代謝・リウマチ内科、
糖尿病・内分泌代謝センター

【目的】 男性プロラクチノーマは、女性例に比し高PRL血症に関連する症状に乏しく、画像検査により偶発的に発見されることが多い。当院での男性プロラクチノーマの特徴について検討した。

【方法】 2010年1月から2023年5月までに当院でプロラクチノーマと診断した男性例を抽出し、診療録により後ろ向きに検討した。2009年12月以前の診断例や、治療前の血中PRL値が不明な症例は除外した。

【結果】 11例が抽出された。診断時年齢は30～82歳（中央値58歳）、受診契機は、視力視野障害が2例、勃起障害が1例、画像検査による偶発的な指摘が8例であった。治療前血中PRL値は449～23,282 ng/mL（中央値1,206 ng/mL）と高値であったが、乳汁漏出を呈した症例はなかった。フリーテストステロンは0.8～9.0 pg/mL（中央値4.1 pg/mL）、下垂体腫瘍の最大径は15～75 mm（中央値25 mm）であった。2例では症状なく経過観察のみで腫瘍の増大も認めなかった。8例ではカベルゴリン（0.25～1.5 mg/週、中央値0.25 mg/週）を投薬し、治療後血中PRL値は0.5～138 ng/mL（中央値13.5 ng/mL）と低下し、腫瘍径は9～65 mm（中央値18 mm）へと縮小した。1例では鞍上部に伸展する腫瘍により両耳側半盲を呈しており、カベルゴリンを3.0 mg/週まで増量したが、腫瘍の縮小、視力視野障害の改善とも乏しく手術・放射線治療を要した。

【考察】 既報と同様、自験例でも男性プロラクチノーマでは、下垂体腫瘍が大きく、視力視野障害を呈した症例が認められた。血中PRL値は高値であったが、高PRL血症に関連する症状を呈した症例は少なかった。男性プロラクチノーマは症状に乏しく、発症から長期間を経過して増大した状態で発見されることが多いことを念頭に置く必要がある。

02 視野障害と汎下垂体機能低下症を呈した トルコ鞍内髄膜腫の1例

○小椋 貴文¹⁾²⁾、福原 紀彰²⁾、岡田 満夫²⁾、
西岡 宏²⁾、黒崎 雅道¹⁾

1)鳥取大学 医学部 脳神経外科

2)虎の門病院 間脳下垂体外科

【症例】 30歳代女性。主訴は頭痛、月経不順。中学生頃から月経不順・月経過多があり婦人科を受診していたが異常指摘はなかった。社会人になった頃より月経不順・月経過多が悪化。20XX-4年頃より頭痛、倦怠感を自覚。人間ドックにて下垂体腫瘍、大脳鎌髄膜腫、子宮筋腫を指摘された。重症GHDは認めたが視機能障害はないため下垂体腫瘍は経過観察となり、大脳鎌髄膜腫も無症候のため同様に経過観察となった。子宮筋腫に対しては手術を施行された。20XX年、月経が停止し、下垂体腫瘍の増大傾向も認めため精査加療目的に当科紹介となった。頭部MRIでは鞍内から鞍上部に進展する腫瘍性病変を認め、Knosp1/2、腫瘍内部に一部石灰化を有していた。視野検査では右眼の視野異常があり、内分泌学的には汎下垂体機能低下を呈していた。ヒドロコルチゾン15 mg/日補充を開始し、PitNETの術前診断のもと、内視鏡下経鼻手術を施行した。術中迅速診断にて髄膜腫と判明し、術中所見から鞍隔膜が発生部位と考えられた。最終的に髄膜皮性髄膜腫の病理組織学的診断となった。術後は三者負荷試験にてすべてのホルモンの反応性低下を認め、レボチロキシンの補充を追加した。多尿、尿浸透圧低下もあり、尿崩症としてデスマプレシンOD錠も開始した。**【考察】** 髄膜腫は最も発生頻度が高い脳腫瘍であるが、トルコ鞍内を発生起源とするものは極めて稀とされている。また、PitNETと類似した画像所見を呈するため術前診断が難しく、内分泌学的所見についての報告も少ない。今回、術前に汎下垂体機能低下を呈したトルコ鞍内髄膜腫の1例を経験したため、文献的考察を加えて報告する。

第24回日本内分泌学会中国支部学術集会
プログラム・抄録集

会 長：垣羽 寿昭

事務局：松江赤十字病院 糖尿病・内分泌内科
〒690-8506 松江市母衣町200番地
TEL：0852-24-2111 FAX：0852-31-9783
E-mail：jesc2023@matsue.jrc.or.jp

出 版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025
<https://www.secand.jp/>



日本内分泌学会中国支部

第24回日本内分泌学会中国支部学术集会事務局

〒690-8506 島根県松江市母衣町200番地

松江赤十字病院 糖尿病・内分泌内科

TEL:0852-24-2111 FAX:0852-31-9783

E-mail: jesc2023@matsue.jrc.or.jp